

# 令和 7 年度 まちづくりの集い (太田・龍田地区)

## 概 要

日 時：令和 7 年 9 月 26 日(金) 18 時 30 分から 20 時 40 分

場 所：太子町役場行政棟 3 階 ホール

太子町総務部企画政策課

## 令和 7 年度 まちづくりの集い 概要

### 1. 開催日時及び場所

日 時 令和 7 年 9 月 26 日(金)  
開会：18 時 30 分 閉会：20 時 40 分  
場 所 太子町役場行政棟 3 階 ホール

### 2. 町出席者

町 長	沖汐 守彦
副町長	榮藤 雅雄
教育長	糸井 香代子
総務部長	森 文彰
生活福祉部長	藏屋 一彦
経済建設部長	富岡 泰造
教育次長	福井 照子

#### <事務局>

総務部企画政策課（まちづくりの集い所管課）

課 長	山崎 将
副課長	佐々木 悟
主 査	西谷 隆宏
主 査	森下 拳士朗

### 3. 参加団体

太子町連合自治会  
太子町 PTA 連絡協議会  
若者世代代表  
町内企業  
農業関係者  
龍野青年会議所 など  
計 18 名

### 4. 住民懇談・意見交換概要

別記にて記載する。

## 1. 開会あいさつ

沖汐町長

【開会あいさつ】

## 2. 町出席者紹介

山崎課長

【町出席者紹介】

## 3. 町の実組紹介：太子町のまちづくりについて

富岡部長

【説 明】

## 4. 住民懇談・意見交換

参加者 A

JR 網干駅は毎日利用しますが、駐車場が多いので少し立ち寄れる店があれば便利だと思います。

富岡部長

姫路市側においても大部分が駐車場となっており、町としても JR 網干駅は町の玄関口と捉えておりますので、軽く飲食ができるような施設もそうですし、賑わいの創出により、人が集えるようなまちづくりをめざしたいと考えております。

参加者 B

龍田小学校について、先日、就学者の保護者を集めた説明会が開かれました。その中で、「龍田小学校は統廃合せず、今後は小規模特認校をめざす」という方針を説明された際に、保護者からは「統合も考えて欲しい」、「校区の再編をしてほしい」という反対意見も多くありました。小学校の 6 年間は人間性を育てる大事な期間ですし、行事の実施が困難になることや保護者の負担が大きくなるという問題も挙がりました。

説明会で出た意見をまとめ、再び説明の場を設けてほしいという結論だったかと思いますが、どのようにお考えでしょうか。

福井次長

龍田小学校を小規模な学校として存続させることに不安を抱かれた保護者の方もいらっしゃいましたし、統廃合も含めた検討をしてほしいというご意見もいただきました。しかし、町としては地域から小学校がなくなることは極力避けたいという基本的な立場から、皆様のご意見を伺っております。

本日開かれた特色ある学校づくり検討委員会の中でも「小規模特認校をめざす」という方向性が出ました。太子町のどの地域からでも龍田小学校へ来ていただけるようという方針のもと、特色ある、お子さんを通わせたい学校づくりを進めた上で、町全域から通学できる学校にすることをめざします。

最終的には競争心や人間関係づくりの面などで少人数が故のご心配についても、何らかの形で解決が図れればと思っております。現状では小規模特認校をめざす方針の決定に留まっておりますが、保護者の皆様には改めて説明の場を設けさせていただきたいと思っております。

参加者 C

先ほど太子町のハード面に関する説明を聞かせていただきましたが、これらは私たち住民では解決できる問題ではないので、町主体で引き続き進めていただきたいと思います。自治会からは他にもハード面の要望はありますが、町が様々な事業を進めている中、すぐに要求することは現実的でないと感じております。

先ほど話題に出ました校区や学校の問題、若者、仕事、観光などの観点から、全世代が太子町に住んでよかったと言える町にするにはどうすればよいかということを考えていただきたいと思います。

JR 網干駅前も姫路市域ではありますが、太子町にも関連が強い地域ですので、姫路市と太子町が連携、協力して開発を進めていくことになろうかと思います。その他の面でも太子町が姫路市と関連すべきところはたくさんあると思います。

私自身、自治会活動を引退せざるを得ない年齢が近づいており、解決したい問題もありますが、自治会、若者、農業者、企業の方も、忌憚のない意見をお願いします。

榮藤副町長

雨水は下へ流れていきますから、雨水幹線の整備でも姫路市との連携は欠かせませんし、隣接する地域では姫路市在住の方が不動産や土地を所有している場合もあります。自治体をまたいで計画的な道路を敷くにも、姫路市との連携は必要不可欠です。現在、広坂地区ではほ場整備を進めていますが、対象となる田んぼは太子町域ではありますが、姫路市にお住まいの方の土地という特異な事業もございます。姫路市との連携を要する事業については十分に話し合いながら進めてまいります。

また、ソフト事業でも広域で進めるものもございますので、姫路市のみならず、たつの市等々、近隣の市町と十分連携をしながら進めていきたいと思っています。

参加者 D

私の方からは 3 点お話ししたいことがあります。

まず 1 点目は龍田小学校の今後についてです。私も龍田小学校の特色ある学校作り検討委員会の一員です。本日は 2 回目の会議でしたが、小規模特認校をめざすという方針が決まりました。これから会議を重ねるに伴い、様々な提案、意見が出てくるかと思いますが、龍田小学校を残すという方針のもと、予算の承認等について、特にご配慮いただければありがたいです。

2 点目に市街化調整区域の問題です。龍田地区は昔から市街化調整区域が大部分を占めています。近所にお住まいの方で、20 年前にご主人を亡くされた女性から、お持ちの田んぼや畑、山を娘に相続させるにしても負担になるので、その処分方法について相談を受けました。市街化調整区域の田んぼや畑は簡単に売ることはできませんが、今のところはお孫さんが年に数回来て、維持をしてもらっています。毎年、耕作放棄地が加速度的に増える中で、田んぼについてはほ場整備を龍田地区でも進めていかなければならない状況ですので、国の方策どおり、ほ場整備による田んぼの集約を行い、事業として活かせるよう早急に事業を進めていただきたいと思います。今年から産業経済課が地域計画作成の関係で、現状と 10 年先の農地をどうしたいかという趣旨のアンケートがとられています。耕作している方を中心に、極力早期に話をまとめていただきたいと思います。

3 点目について、田んぼと畑と山が多い龍田地区では毎年春から秋口にかけて、イ

ノシシやシカの被害が出ます。私も家の向かいにある畑に植えていた野菜が、鉄柵をしていましたが3回ほどイノシシに荒らされてしまいました。

産業経済課が鳥獣対策として罠による捕獲をしています。ただ、6月から11月中旬は猟が認められている期間かと思いますが、早ければ6月から10月中頃には予算を消化してしまうのか、狩猟期間の末まで捕獲が続いたことはないと認識しています。予算をもう少し上げていただき、狩猟期間の末まで捕獲を続けていただけるような配慮もお願いしたいです。

沖汐町長

私個人としては、龍田校区に住んでおられる方のうち、特に今後の入学予定者や、龍田小学校で動いておられるPTAの方々からの意見を大切にしながら、龍田小学校を存続させる方向で努力したいと考えています。

予算上の問題についても何か要望がありましたら、教育委員会を通じてお伺いし、最大限の努力はしたいと思っております。

富岡部長

都市計画区域、市街化調整区域におけるほ場整備についてですが、龍田地区だけではなく、石海地区でも同様に、農地を維持できない耕作放棄地が増えています。そうした中で、石海中部地区においてはほ場整備に向けて動きを進めているところです。広坂地区に田んぼをお持ちの姫路市在住の方がほ場整備をされていることもあり、太子町でもほ場整備を進めようとしたことが、関係者の意見がまとまらず、合意に至りませんでした。ほ場整備は地域の皆さんの協力が必要不可欠ですので、地域でリーダーシップを発揮していただける方が5人ほど必要になってきます。

町としてもほ場整備を進め、大型機械を入れた効率的な農業を進めることは重要なことだと考えています。現在、太子町内では若手の農業者によるMettFarmという団体があり、若手農業者の皆さんにも農業を推進していただこうと取り組んでおります。MettFarmの皆さんを大事にしながら、一步一步ですが着実に農業を維持できる体制作りを、検討したいと考えています。

シカ・イノシシの件については、年間80頭の捕獲を目安として予算を措置しています。以前は150頭ほど捕獲しようとしていた時期もありますが、姫路市の桜ダムの方面から動物たちが南下してくることもあり、捕獲頭数を増やせば減るというものでもありません。対策としては山や農地を囲むという手法が現実的ではないかと考えております。そのような支援メニューもありますので、地域の方々でご相談させていただきながら、支援を進めてまいりたいと思います。捕獲頭数を増やすことが不可能というわけではありませので、検討してまいりたいと思います。

参加者 E

まず1点目ですが、医療費と給食費の無償化についてです。医療費に関してはたつの市や姫路市では中学生まで完全無償化、通院については高校生まで無償化が決定しております。周りと比較をする是非はありますが、近隣よりも見劣りするというご意見も耳にします。給食費の無償化については良いことですが、その影響で給食の質が落ちては子供の健康に影響が出てしまうので、無償にさえすれば良いとは思っていません。当然、無償化を希望する意見もありますので、ご検討の方、お願いします。

もう一つは、学校設備の老朽化についてです。7月末にも太子町の小中学校のPTA

と先生方が集まる意見交換会があり、糸井教育長と教育次長ともお話させていただきました。太子東中のプールには未だにくみ取り式のトイレがあり、40年以上前のプレハブが未だに使われています。予算の関係で整備が進まないという背景もあるかと思いますが、少しでも子どもたちが使っている設備への予算を増やしていただけたらと思っています。

最後に、私も龍田地区に住んでおりますが、市街化調整区域ということもあり、人口も増えず、田んぼの跡継もなく、遊休地が増えています。外部の人も龍田地区に家を建てられるような手立てはないのかという思いもあります。バイパスの入口付近には物流の倉庫が増えています。倉庫を建てるなら家やハイツを建てた方が、人口増加に繋がるのではないかと思いますがいかがでしょうか。

沖汐町長

まず医療費・給食費の無償化は私の公約でもあるので、何とか実現したいと思っています。町全体の予算の中で優先順位をつける必要はありますが、最大限の努力をしたいと考えています。ただ、給食費の無償化により質が下がれば意味がありませんので、その点に関しては責任を持ちたいと思います。

2点目の学校関係の予算は、教育委員会の方が要望を聞いていると思います。こちらも優先順位をつけて取り組む予定です。まずは学校体育館の空調を優先してほしいということを教育委員会からは聞いています。

3点目について、東芝の西側には市街化調整区域を含む阿曾地区がありますが、こちらでは地元の方がまちづくり協議会を立ち上げ、新しい人に住んでもらうことができる特別地域を作った結果、6軒ほどの家が建っています。龍田地区でも同様に進めるためには、まちづくり協議会を作り、地域の方々の合意をとる必要があります。他地域からの転入に対する考え方がまとまっていない状況では実現できません。市街化調整区域であっても、転入者に入ってきてもらうことは可能ですので、それぞれの地域で考えていただければと思います。

参加者 F

太子町東保地区で不動産、建築の会社をしています。太子町で全国的にも問題になっている空き家対策の関係での活動もしています。

私がお願いしたいのは、既存住宅流通の円滑化です。市街化調整区域という区域区分ができた後に建てられた住宅は、建築許可を受けて建てられた住宅ということになります。誰もが住める家にするためには、県への手続きにより建築許可を外すことが必要になり、それが非常に煩雑で時間もかかります。また、区域区分の設定前から建っていた家の建て替えは誰でも可能ですが、一度空き家となり解体すると、区域区分設定以前から建っていたという既得権を放棄したことになります。その跡地には農家や地縁者の方等しか家を建てられない土地になってしまい、困っておられる売主さんにも出会いました。

そうした手続きを進めるにあたって、県へ様々な申請を行うことにはなりますが、県の担当者で太子町を担当する方は1人のみであり、担当業務も多岐にわたりますので、手続きに非常に時間がかかります。

先ほど町長がおっしゃいました特別指定区域として家が建てられるような地域にすることも重要ですが、地縁者住宅という制度もあります。これは同一小学校区もしくは

は大字隣接の市街化調整区域に 10 年以上住んだ方が、その地縁者区域にある土地に家を建てられるという制度ですが、龍田小学校区はその制度に該当する方の絶対数が非常に少ないと考えています。これまで龍田小学校区に地縁者住宅の制度を活用して家を建てられた方は、数えるほどではないでしょうか。龍田小学校区に関しては、地縁者の要件を緩和していただく等の措置を検討していただければと思います。市街化調整区域を変えるのは県の管轄ですから、非常に難しいことですが、既存の制度を少しずつ緩和していくことで、何とか龍田小学校区に家を建てられるようにしていただきたいです。

また、以前、太田小学校区の市街化調整区域で空き家を販売したこともありましたが、その際にも県への手続きに相当の時間を要しました。町全域の市街化調整区域で空き家を流通させる、売却するために、手続きを簡易にいただければ、空き家が減り、地域の環境も良くなるのではないかと考えます。

太子町の他の市町にはないアピールポイントはやはり利便性だと思います。太子町は便利な街という点から土地を購入し、家を建てる方が多くおられます。しかし、店舗や医療関係がどうしても国道 179 号線沿いに集中してしまい、今住んでいる高齢の方等はそこまで行けない方もおられます。便利な一方で、不便になる方もおられる側面もあるので、市街化区域内での用途地域も見直していただき、小型店舗でも進出できるような土地活用をお願いしたいと思います。

市街化調整区域についてもう一つお話させていただきますと、企業の減少が気になります。昔は東芝の下請けで稼働していた工場や他にも様々な工場があったと思いますが、市街化調整区域であることが災いして、施設が老朽化した場合に新たな工場を建てにくい背景があるのではないのでしょうか。本田冷蔵さんが市街化調整区域で工場を建てた前例もあるので、市街化調整区域で事業を運営しておられる方のバックアップもしていただきたいなと思います

富岡部長

現在、福地地区で特別指定区域空き家特区制度を活用して、新規居住が建てられるように県の許可をいただこうと進めております。これも長い時間をかけて、地域の方と連携しながら進めてきたものであり、時間を要するのが現状です。

町としては特別指定区域空き家特区制度を活用し、市街化調整区域に新しい方が入ってくることができ、空き家が活用できる取組みを進め、まずは福地地区から次の地域に広げていきたいと考えています。

次に用途地域の見直しですが、市街化調整区域の見直しというのは非常にハードルが高く、現在、道路整備をしている区域につきましては、町としても賑わいの創出や地域の交流拠点としての土地が活用できるように、用途地域を見直そうと進めています。これも時間がかかることですが、町としてもできることから着実に進めておりますので、ご理解いただきたいと思います。

参加者 G

本日、お話をお伺いし、子供たちのため、将来を担う人材のために町を整備していく、まちづくりをしていくという点に共感させていただいております。その中でも人づくりの観点から質の高い教育を今後どう推進されていくのか、また、教育や課外活動の中で、私ども民間がどのような協力ができるのかという部分について、今後手を

組んで推進させていただければと感じております。

その中で、JR 網干駅の活用という部分にありましたが、町民の方が多く利用する JR 網干駅にどのようにして太子町の色を出し、町の玄関口としてどうしていくのかという点に興味を持たせていただきましたので、そのような意見交換の場もいただければと思います。

最後に、商業施設や経済を盛り立てるのも大変重要なことですが、太子町に根を張って商売をされている地場産業や個人商店を圧迫しないバランスの調整についてもお話できる機会をいただければと存じます。

福井次長

子供たちの教育にご協力いただけるということでありがとうございます。

この夏に太子町立小学校に関するアンケートをとらせていただきました。その中で、「学習面において、どんな特色のある学校なら通わせたいと思いますか。」という質問項目について、保護者の回答で最も多かったのが、「体験を重視した多様性を伸ばす教育」というものでした。この体験は皆様の協力なしにはできません。そのような面でご協力いただければ、太子町の子供たちに喜んでもらえる貴重な体験を提供できるかと思いますので、その節にはどうぞよろしくお願いいたします。

榮藤副町長

JR 網干駅周辺に太子町の色が出せれば良いですが、JR 網干駅自体は姫路市になります。

JR 網干駅周辺に町の色を出すためには、このようなまちづくりの集いや、住民との対話を通して利用方法の提案、PR の場を増やすというやり方になろうと思います。対話の場を積極的に作り、皆さんからの意見を頂戴するのが基本かと思いますので、今後そうした場を設けて参ります。

加えて、昔からの小売業を中心とした商店の関係ですが、太子町でその中心となるのは商工会だと思います。商工会とは常に対話しておりますので、昔から商売をされている方、創業されている方についても支援していきたいと思っております。

またそうしたお話の機会は積極的に作っていききたいと思います。

系井教育長

龍野青年会議所さんには、斑鳩寺への願い球の展示や風船飛ばしへのご協力等、色々とところで子供たちの体験活動にご協力をいただいております。今後、中学校の部活動の地域展開等にもご協力をいただけるというようなことも耳にしておりますので、ぜひともお世話になりたいと思っております。

参加者 H

龍田地区の通学路ですが、斑鳩の北にあるコスモスから総合公園にかけての直線道路に歩道がなく、子供が通うのに非常に危険です。ガードレールの中を通ったとしても、溝の上のグレーチングの上を歩いている状態で、小学校に通うにしても公園に行くにしても、歩道らしい歩道はなく危険ですので、可能であれば全体的に歩道を整備していただけたら、斑鳩地区からも公園へ通いやすいと思います。

富岡部長

毎年、学校と一緒に交通安全点検を実施しています。おっしゃられた部分については、一部外側線を入れたり、ポストコーンを立てたりという処置はしていますが、伺



った内容は気が付かなかったので今一度確認させていただき、整備できるかどうか検討いたします。

全体的な歩道の整備となると相当な費用がかかってきますので、今できる範囲で何ができるかを検討させていただきたいと思います。

参加者 I

私は農業者ですが、先ほど龍田地区の連合自治会長さんが言われたように、ほ場整備を進めていただきたいと思います。私は太田地区で農業をしていますが、排水路から水が出てきたり、野菜が作れなかったりと不便なところが多々あります。

2 点目に、先日のニュースで太子町も取り上げられていましたが、農業者としては先ほどお話にもありました獣害被害に非常に困っています。対策としては実費を払って取り組むしかありませんが、そこに対して町の方でも対策を検討いただき、機材の設置や情報を教えていただく等をしていただければと思います。

続いて、ほ場整備の話に戻りますが、我々MettFarm には大規模農家をめざして 5 人のメンバーが集まっています。ほ場整備の結果、大規模農家が育てば今以上に町の PR をしながら、太子町産の野菜や米等の作物を作ることができます。石海地区でもほ場整備が進められていますが、私ども MettFarm としても協力させていただきますので、ぜひ積極的に推進していただければと思います。

最後に 3 点目ですが、今、離農する方が非常に多いです。我々も農地を守ろうという使命感はありますが、面積的にも私達で賄うことはできません。その中で私達も MettFarm として、若手農業者を太子町に呼び込もうと心がけてはいますが、補助面や費用面での難しさがあります。そういった中で、離農により機材に余剰が出るケースがあれば、我々MettFarm に声をかけていただければ、若手の農業者へ周知ができるかと思いますので、ぜひとも協力のほどよろしくお願いします。

富岡部長

ほ場整備に関する一つ目の意見ですが、こちらはやはり地域の方々が協力しながら進める事業となりますので、個人で進めることはできません。まず地域がまとまっていただいて、体制ができてこそ実現できるものです。我々も当然応援はさせていただきますので、よろしくお願いします。

また、獣害被害への対策についてですが、原地区で米を作っておられるところでは鹿囲いという網を張っています。設置については自分たちで行っていただくものですが、設備に関しては県の補助を活用されており、そのような補助メニューもございます。

最後に若手農業者の方に関しましては、我々も大切に育てていきたいと思っておりますので、協力させていただきたいと思っています。離農をされて、不要な農業機材が出た農業者に対しては、我々も聞き取りなどを通じて安価でもしくは無償で譲渡いただく意向があれば、ご紹介させていただきたいと思いますので、我々も情報収集に努めてまいります。

参加者 J

先日、関東から遊びに来た友人をどこへ連れて行こうかと思い、斑鳩寺や新舞子、姫路城と行って、宮本公園の宮本武蔵像を見に行ったところ、岡山県や加古川市には及ばずとも、各メディアで見聞きするイメージとの乖離が非常に大きかったです。

お金や人手もかかりますが、宮本武蔵というと全国的に、五輪書というと世界的な話になる中で、派手にする必要はありませんが、他所に負けないようなアドバルーンを上げれば、観光などのソフト面でも地域性を出せるのではないかと思います。

富岡部長

観光の面につきましては、皆さんからご指摘を賜っているところです。他の自治体と比較すれば小規模にはなりますが、観光協会とも連携しながら、限られた予算の範囲内で積極的にPRをしていきたいと考えております。

また、昨年銅像をいただきまして、宮本武蔵像受贈記念切手も発行しております。引き続き広報PRしていきますので、何卒ご協力をお願いしたいと思います。

参加者 K

先ほどから目の前にある課題に対するご意見が多く出ていますが、私個人としては根本的にどのようにすれば太子町に多くの人が集まり、持続的な町運営ができるのかという想定のもと、計画立てることが必要であると思っています。そして、その際にはやはりお金が必要となり、地元の企業をどう支援するのかが重要になります。また、統計調査ではZ世代と呼ばれる、これからを担う若者世代の中には起業したい人が非常に多いという結果が出ています。そのような中で、これからの時代を作るZ世代に向けた政策をどのようにするのか。お金や条件面で誰もが挑戦できる環境をどう作っていくかが非常に重要になると考えています。地元企業と若者世代に対する支援に関して、もう少し具体的な計画を作っていただければいかがでしょうか。

それに付随して、地域まちおこし隊という制度もございます。制度上、太子町では活用できない部分もあるかと思いますが、先ほどの空き家や、農業の問題に関しても制度の整備だけでは意味がなく、人に来てもらわなければどうにもなりませんので、その辺りの制度活用を検討いただければと思っています。

また、基本的に行政だけで全てのニーズを賄うことは難しいと理解しますが、企業地域連携の観点から、企業にできることはないかと考えている方も多くいらっしゃると思います。先ほどの龍田小学校の問題に関連する部分で申しますと、徳島県に神山高専という高専があります。大変田舎に位置しているにも関わらず、倍率が非常に高く、人気の学校ですが、この学校は企業の出資により設立されたもので、運営は出資元の企業と行政が一緒に行っています。大手企業からの出資を募り、新しい学校や教育を作るという観点も必要かと感じます。学校への出資を呼びかけるのか、太子町は観光地や名産がありませんので、その辺りへの出資を呼びかけるのか。遊ぶところがあれば若い人も多く来ますので、これを提案したいなと思っています。

もう一点です。先ほど商工会の話が出ましたが、商工会とは我々も一緒に色々な事業を実施していますが、商工会や青年会議所に所属していない若者で、事業をされている方もおられます。そのような方々と意見を交わす会を設けられてはいかがかと思っています。太子町の経団連ではありませんが、経済部門等からの意見を吸い上げる場を設けることで、行政と一緒に考えていく団体を作られてはいかがでしょうか。

最後は少し最初の話に戻りますが、太子町は非常に小さな町で、小さいからこそやりやすい部分もあると思いますが、当然土地は限られており、ある程度家が建てば、それ以上はこの地域に住むことができなくなります。最終的には太子町が外貨を稼げる地域にならなければ、財源を担保できなくなるということです。太子町の若者

には今以上に頑張ってください、様々な製品を作れるようになる等、外貨を稼ぐための支援を進めていくべきだと考えます。その中で、場合によっては国際的な知見を取り入れる必要が出てくるかもしれません。太子町にも外国人の方がかなり増えていると思いますが、外国人の方が太子町でより多くの雇用に繋がる、起業ができるよう支援をされるといいのではないかと思います。

県下でも年少人口率が一番高いという太子町の利点を活かしながら、外貨も稼げる、活力のある町になればと思い、ご意見させていただきました。

沖汐町長

所属されている龍野青年会議所に加え、町内には商工会、太子町ライオンズクラブもありますので、そのような機関にもお集まりいただき、それぞれの立場から太子町がより良い町になるための方策について、改めて会議をさせていただきますので、ぜひご参加いただければと思います。

参加者 L

フードドライブについてですが、太子町の社会福祉協議会からのご依頼もあり、当社も龍田地区で受け入れを行っております。この事業は各家庭で余った食材や日用品を必要とされている施設や家庭に提供するものであり、非常に良い取り組みだと思っておりますが、あまり量が集まっていないという実情もあります。多く集めることだけが成功というわけでもありませんし、事業について広く知っていただくということが一番大事だと思っております。

この辺りは山崎断層も非常に近く、皆さんの災害に対する意識は高いと思いますが、町で備蓄されている非常食についても、ある程度の期間が経過すると期限が切れますので、そういったものを提供する絶好の場だと思います。町として良い取り組みをされているので、もう少し周知を進めていただければと思っております。

藏屋部長

フードドライブについては令和2年からNPO法人のフードバンク播磨、社会福祉協議会、民生委員児童委員協議会と協力し、年2回、7月と11月頃に実施しており、民間の企業の皆さんにもご協力いただきながら募集を進めております。太子町役場では食料をいただくことが多く、200～300キロが集まっております。

ただ、各事業所様や社会福祉協議会様につきましては、集まる量が少ないと伺うこともありますので、SNSやホームページでの周知に加え、企業様を通じたPRのご協力についてもお相談させていただきながら、支援が必要な方の助けになるよう、今後も取り組みを進めていきたいと思っております。

また、本日配付しておりますが、町の災害備蓄食についても期限が残り1年程度となるものについては支援が必要な方に配付する形で活用いたしております。

参加者 B

龍田小学校を小規模特認校にするという話がありましたが、それは教育委員会の意見であり、過去に実施された説明会では当事者からの反対意見があったにも関わらず、小規模特認校への動きを進めることは当事者として承知できません。校区の編成や統合が難しいことは理解しますが、太田小学校には4、5クラスある一方で、龍田小学校では今後一学年が2人になることが見込まれています。それにも関わらず龍田小学校単体で存続させることには納得がいきませんし、他校から子どもたちを呼び込めた

としても通常の１クラスの人数に及ぶことはないと思います。そのような状況で特色ある学校づくりと言われても、未就学児や在籍児の保護者としては納得できません。

また、龍田小学校区以外の方が龍田小学校へ通学できるようにすることも考えていると言われていたましたが、そうであれば同じように龍田地区の人も他の学校を選択できるようにしてほしいです。他の市町でも龍田小学校よりも児童数が多い小学校の統廃合がありますので、検討していただきたいです。

加えて、龍田小学校の今後に関するアンケートをとられたと言われていましたが、そもそも当事者以外の方は自分事としての意識が低いと思います。以前にも龍田小学校区の未就学児の保護者を対象としたアンケートを実施してほしいと伝えましたが、行われる様子也没有ありません。まず、当事者からの意見を吸い上げ、その意見を集約した上で、改めて龍田小学校の未就学児の親への説明会を実施してもらいたいです。

系井教育長

８月６日に龍田地区の未就学児の保護者１５名ほどに集まっていただき、ご意見を伺ったところ、何名かからは小規模特認校よりも統廃合が良いのではないかという意見をいただきました。

時期を同じくして、太子町の全未就学児の保護者と龍田小学校の児童の保護者を対象としたアンケート調査を実施していましたが、このアンケートでは今の龍田小学校がとても好きだ、児童数が少ないことによるメリットを感じているという意見を書いてくださった方も多くいらっしゃいました。

このアンケートの結果を踏まえ、本日の検討委員会では太子町全域で自由に学校を選べる制度など、５つほど例を挙げて検討を行いました。いずれを選択しても龍田小学校の児童数減少の流れは止められず、龍田小学校の児童数をある程度維持するには、他所から龍田小学校に来てもらうことが最良であり、小規模特認校への検討を進めるべきとの結論に至りました。

ただ、保護者の皆さんの中には多様な意見があることは承知しておりますので、改めて皆さんの意見を伺う場を設けさせていただきます。地域に見守られている今の龍田小学校を存続し、多様な方に選んでいただけるような魅力のある学校にするのが検討委員会、また教育委員会の現状の方針ですので、その点についてもご意見をお聞かせいただければありがたいと思っております。

5. 閉会あいさつ

榮藤副町長

【閉会あいさつ】